

第94回理事会 平成28年事業報告と収支決算を承認

東京ビル政連は2月7日、ビルメンテナンス会館で「第94回理事会」を開催し、平成28年の事業報告・収支決算と、第9回評議員会の進行について審議した。

冒頭、佐藤博理事長は、築地市場の豊洲移転問題や、都



理事会の様子

議選の前哨戦として注目を集めた「千代田区長選挙」などに言及したあと、「我々としては今後もふれずに、都議選では業界要望の実現に協力していただける議員の当選のために頑張りたい」と支援を求めた。

また、「本日の議案は、2月に開催する評議員会に提案する平成28年の事業報告と収支報告、さらに評議員会の進行についてであります。政治連盟の役員がしっかりと確認し、評議員会を成功させたい」と周到な審議を要請した。

平成28年の事業報告は横田英雄幹事長が担当し、「東京都所有の建築物の維持管理に関する要望活動」や「関係諸法令等の改正に関する運動」

「ビルメン業界の理解者である議員・候補者の応援」などについて報告し、進捗状況の説明。

収支報告は高安敏夫会計責任者が行い、機関紙発行などの収入1482万円に対し、人件費などの経

第95回理事会 都議選の対応を決定

東京ビル政連は4月4日、ビルメンテナンス会館で「第95回理事会」を開催、平成29年東京都議会議員選挙の対応について審議した。



佐藤理事長

佐藤博理事長は、都議会百条委員会で行われた豊洲市場

問題での石原前都知事らの証人尋問などについて述べたあと、議題を挙げて、「我々政治連盟の基本方針は明確であり、業界要望の実現に協力していただける議員が当選できるように支援することです。これまで、政治連盟と都側との交渉の積み重ねの中で、築き上げてきた品質重視の入札制度を価格一辺倒の制度に逆戻りさせることを決して許さず、さらに発展させることが使命だと確信しております。本日、都議会選挙における推

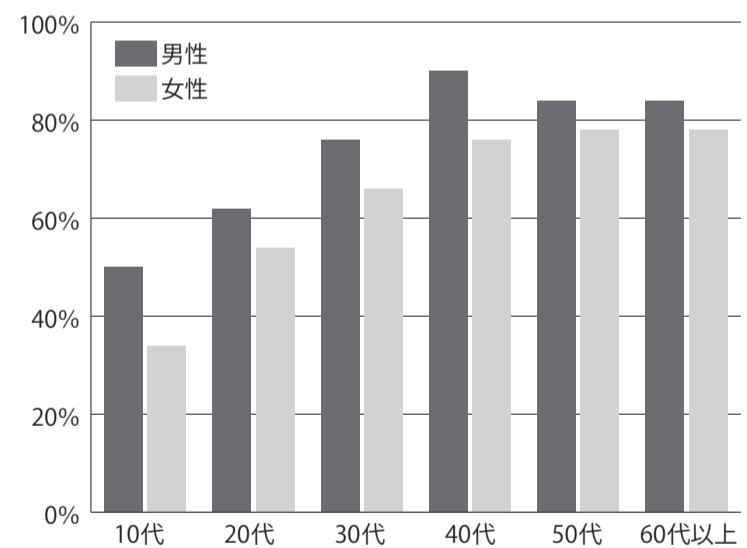
ビルメンテナンス業と東京協会の認知度・イメージ調査結果 第2回

「ビルクリ」を5割が認知

(公社)東京ビルメンテナンス協会が実施した「一般の方が、ビルメンテナンス業と東京協会に持っているイメージ調査」の中の「ビルクリーニング認知度調査」では、全回答者のうち5割が「ビルクリーニング」という言葉を知っていると回答。予想に反して「ビルメンテナンス」という言葉の認知度に比べて2割少なかった。その理由として、東京協会では「ビルクリーニング」という言葉は生まれてから日が浅く、「清掃」「お掃除」という単語などが普及しているからと見ている。年代別・男女別認知度では、40代以上の男性の認知度が高いことが分かった。

知っているもしくは見たことがある作業名では、「ビル玄関前の掃除」が最も多く、6割を超えた。「ビルクリーニング」という言葉の認知度より多く、作業を見たことがあってもビルクリの概念と必ずしも結び付いていないことが分かった。

ビルクリーニングという言葉を知っている年代別・男女別認知度



知っているもしくは見たことがある作業名

作業名	%
1. ビル玄関前の掃除	62.0
2. ビルの玄関ホールの掃除	61.8
3. ビルのトイレの掃除	60.0
4. ビルの階段の掃除	57.3
5. 駅、駅トイレの掃除	42.5
6. マンションの掃除	41.3
7. デパート・百貨店の掃除	39.7
8. 病院の掃除	38.2
9. ホテルのベッドメイキング	26.0
10. 公園の掃除	25.8
11. 公民館等の掃除	24.3
12. ビルの貯水槽の掃除	23.8
13. ビルの水道管の掃除	23.5
14. 思い浮かばない	15.5

また大村清保監事が、帳簿・伝票および証憑書類を精査した結果、「当連盟の財政状況は健全」との監査報告を行った。

このあと審議に移り、両議案とも全会一致で承認された。

また大村清保監事が、帳簿・伝票および証憑書類を精査した結果、「当連盟の財政状況は健全」との監査報告を行った。

このあと審議に移り、両議案とも全会一致で承認された。

第9回評議員会の進行については、鷺見博史事務局長が提案説明を行い、「次第」や2月27日の開催が承認された。

ほかに、鈴木雅之副理事長

から、1月19日に開催された「全国ビル政連第60回評議員会」実施報告、鷺見事務局長より「千代田区長選挙」の対応と結果、「1月の動きと今後の予定」についての報告があった。

平成29年2月～4月の動き

- (2月7日) 第94回理事会
- (2月7日) 川井しげおを励ます会
- (2月9日) 高島直樹 新春の集い2017
- (2月21日) 各種団体新春親睦観劇会(東京都各種団体協議会)
- (2月27日) 第9回評議員会
- (4月4日) 都議会自民党入札・契約制度改革PTとの意見交換会
- (4月4日) 第95回理事会
- (4月7日) 宇田川聡史都議を励ます会
- (4月11日) 東京政経フォーラム(東京都各種団体協議会)

薦候補者を決定し、支援内容について確認したい」と、十分な審議を求めた。

提案は鷺見博史事務局長が担当し、「6月23日告示、7月2日に投票される都議会議員選挙に対し、候補者の推薦・支援等の基本方針を決めて対応を図りたい」と述べ、「原則として、東京都議会自民党ビルメンテナンス業振興政策研究会に所属している候補者を支援候補者として推薦する。なお、その他の候補者から推薦依頼があった場合の対応については、正副理事長、幹事長に一任する」という基

本方針や支援方法などについて説明、質疑応答を経て、全会一致で承認された。

報告事項としては、鷺見事務局長が以下の各項目について説明。

- 1 平成29年度東京都所有の建築物の維持管理に関する要望の回答
- 2 東京都議会自民党との意見交換会の実施
- 3 新役員選出までの日程等の予定
- 4 2月・3月の動きと今後の予定

このほか、都議会議員選挙などについて意見交換を行ったあと閉会となった。

平成28年賃金構造基本統計調査 ビル清掃員は減少、警備員は増加

区分	企業規模計 (10人以上)							
	年齢 (歳)	勤続年数 (年)	所定内実労働時間数 (時間)	超過実労働時間数 (時間)	きまって支給する現金給与額 (千円)	所定内給与額 (千円)	年間賞与その他特別給与額 (千円)	労働者数 (10人)
ビル清掃員	52.2	7.9	168	8	190.0	178.4	182.2	7,475
警備員	49.5	7.5	176	25	238.4	199.2	215.4	19,544

厚生労働省は2月22日、平成28年「賃金構造基本統計調査」の結果を公表した。

調査は毎年7月に実施。今回の調査結果によると、企業規模10人以上では、きまって支給する現金給与額は、ビル清掃員が19万円、警備員が23万8400円。所定内給与額は、ビル清掃員が17万8400円、警備員が19万9200円となった。前年比では、きまって支給する現金給与額は、ビル清掃員が7100円(3・60%)の減少、警備員は8900円(3・88%)の増加。所定内給与額は、ビル清掃員が6500円(3・52%)の減少、警備員は3000円(1・53%)増加した。

所定内実労働時間数は、ビル清掃員が168時間、警備員が171時間。超過実労働時間数は、ビル清掃員が8時間、警備員が25時間。前年比では、所定内実労働時間数は、ビル清掃員が3時間(1・81%)の増加、警備員は1時間(0・60%)の増加、超過実労働時間はビル清掃員が1時間(11・12%)の減少、警備員は3時間(13・63%)の増加となった。

平成29年2月～4月の動き

- (2月7日) 第94回理事会
- (2月7日) 川井しげおを励ます会
- (2月9日) 高島直樹 新春の集い2017
- (2月21日) 各種団体新春親睦観劇会(東京都各種団体協議会)
- (2月27日) 第9回評議員会
- (4月4日) 都議会自民党入札・契約制度改革PTとの意見交換会
- (4月4日) 第95回理事会
- (4月7日) 宇田川聡史都議を励ます会
- (4月11日) 東京政経フォーラム(東京都各種団体協議会)